

インフラの劣化情報を可視化するアプリ 『 InfraScope (インフラスコープ) 』



特徴

シンプルな操作

ハンズフリー

補修作業効率アップ

人手不足解消

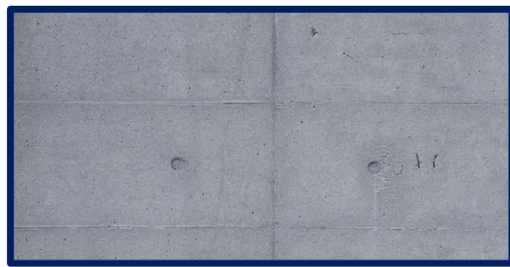
調査データをウェアラブルグラスにマッピングすることで、コンクリートの劣化情報を直に見ながら点検・補修作業が可能となり、検査結果と補修箇所を紙など書き写すなどの手間が無くなり大幅に省人力化に貢献します。

従来のコア抜きで作業時間と分析費用に膨大なコストがかかっていた塩害診断は、非破壊検査方法である蛍光X線分析との組み合わせにより劇的に効率アップします。

※現在、当アプリは塩害診断対応ですが、今後はその他の調査にも対応予定です。

～活用イメージ～

1. 測定予定場所の表示



塩分濃度測定対象のコンクリート面

座標データ
可視化



ウェアラブルグラス
(Microsoft HoloLens 2)

X1-Y3	X2-Y3	X3-Y3	X4-Y3	X5-Y3	X6-Y3
X1-Y2	X2-Y2	X3-Y2	X4-Y2	X5-Y2	X6-Y2
X1-Y1	X2-Y1	X3-Y1	X4-Y1	X5-Y1	X6-Y1



基準座標用マーカー



各グリッド毎に計測

ハンドヘルド蛍光X線分析計
(エビデント VANTA)

測定データアップロード

2. 測定塩分濃度の可視化



データベース(クラウド)

測定データ
可視化



ウェアラブルグラス
(Microsoft HoloLens 2)

X1-Y3	X2-Y3	X3-Y3	X4-Y3	X5-Y3	X6-Y3
○kg/m ³	○kg/m ³	○kg/m ³	○kg/m ³	○kg/m ³	○kg/m ³
X1-Y2	X2-Y2	X3-Y2	X4-Y2	X5-Y2	X6-Y2
○kg/m ³	○kg/m ³	○kg/m ³	○kg/m ³	○kg/m ³	○kg/m ³
X1-Y1	X2-Y1	X3-Y1	X4-Y1	X5-Y1	X6-Y1
○kg/m ³	○kg/m ³	○kg/m ³	○kg/m ³	○kg/m ³	○kg/m ³



基準座標用マーカー
塩分濃度の高いエリアが特定される

～投影イメージ～



お問い合わせ

開発元

株式会社XMAT



(クロスマテリアル/東北大学発ベンチャー)

〒980-0811

宮城県仙台市青葉区一番町1-15-9

TEL: 022-775-9376

E-mail: info@xmatcorp.com

xmat

検索